

交通事故における救急搬送人員のデータ分析について

昨年、本組合管内では1,272人が交通事故によって救急搬送されました。

交通事故を予防するため、救急搬送人員におけるデータ分析結果を示し、注意喚起を図ります。

なお、交通事故によって救急搬送された方の事故に遭った際の交通手段を、「自動車（バイク含む）」、「自転車」、「歩行者」に分類し示します。

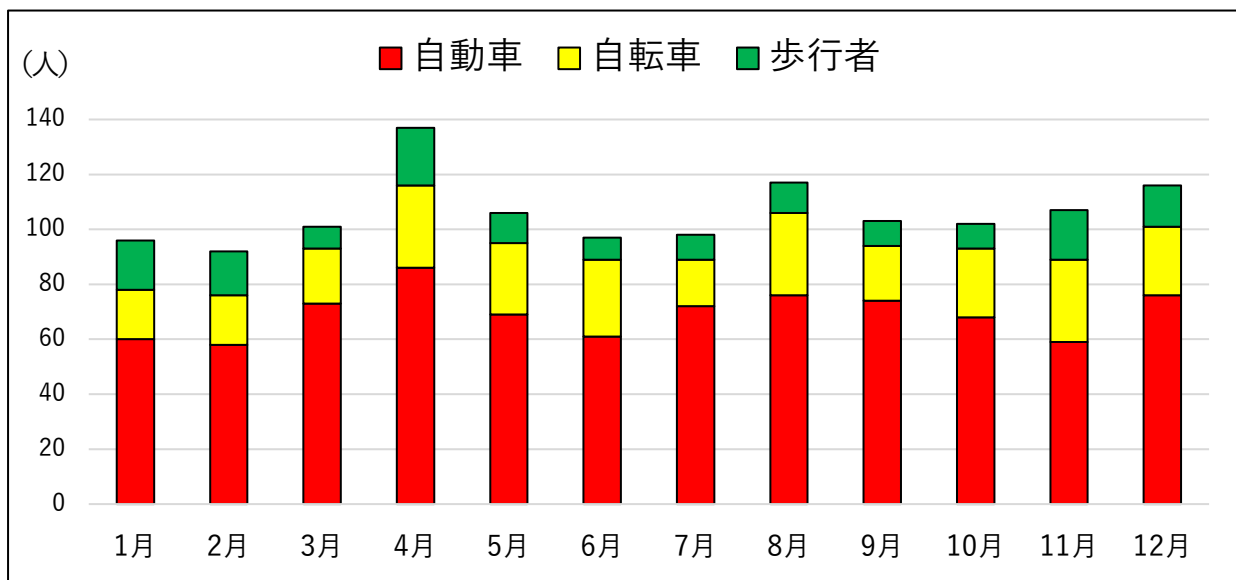
統計は、2019年一年間の数値です。

1 月別の交通事故による救急搬送人員

4月が最も交通事故による救急搬送人員が多いことが分かります。

新年度となり、また新生活が始まるなどして人の動きが活発になるとともに、不慣れな道を通る機会が多くなることなどが影響していると推測されます。

図1-1 月別の交通事故による救急搬送人員



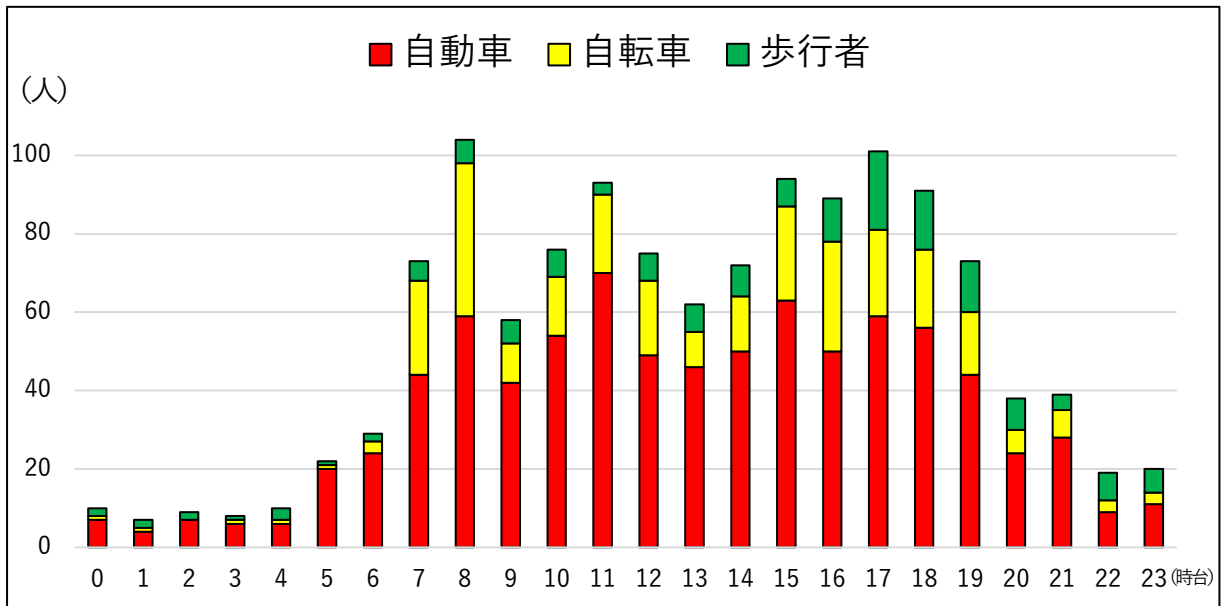
2 時間帯別の交通事故による救急搬送人員

(1) 全交通手段

朝の通勤・通学の時間帯、お昼前の時間帯、夕方の時間帯の3つがピークとなるグラフとなります。

それぞれ、人の移動が活発化することにより交通事故が多く発生していると推測されます。

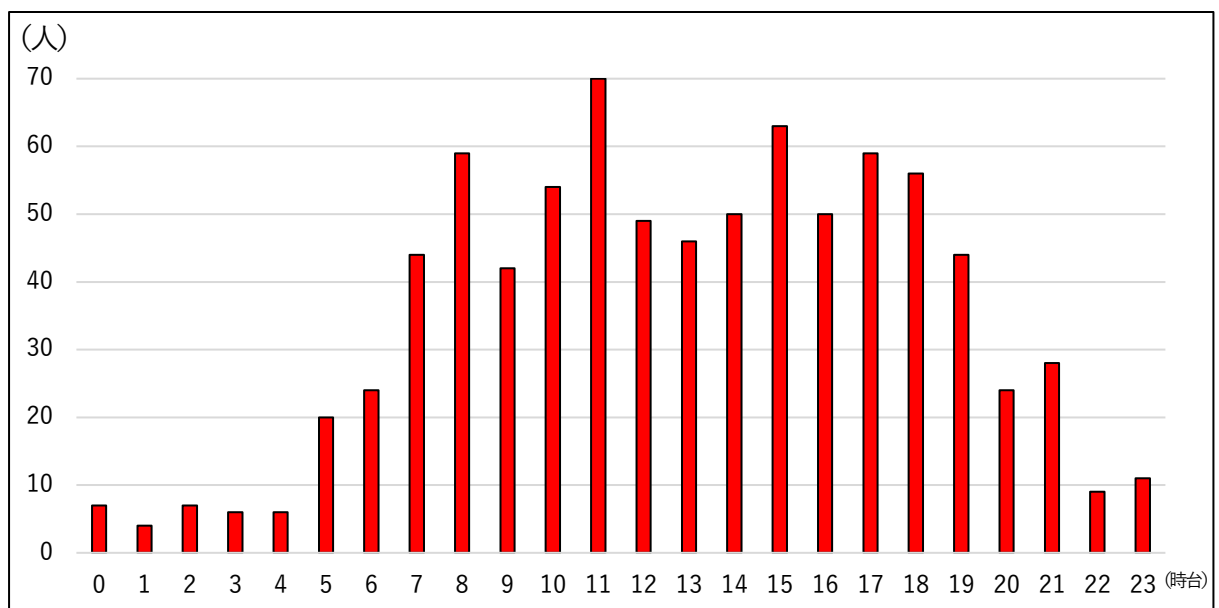
図2-1 時間帯別の交通事故による救急搬送人員（全交通手段）



(2) 自動車

概ね、(1) 全交通手段と同様のグラフの形を示します。

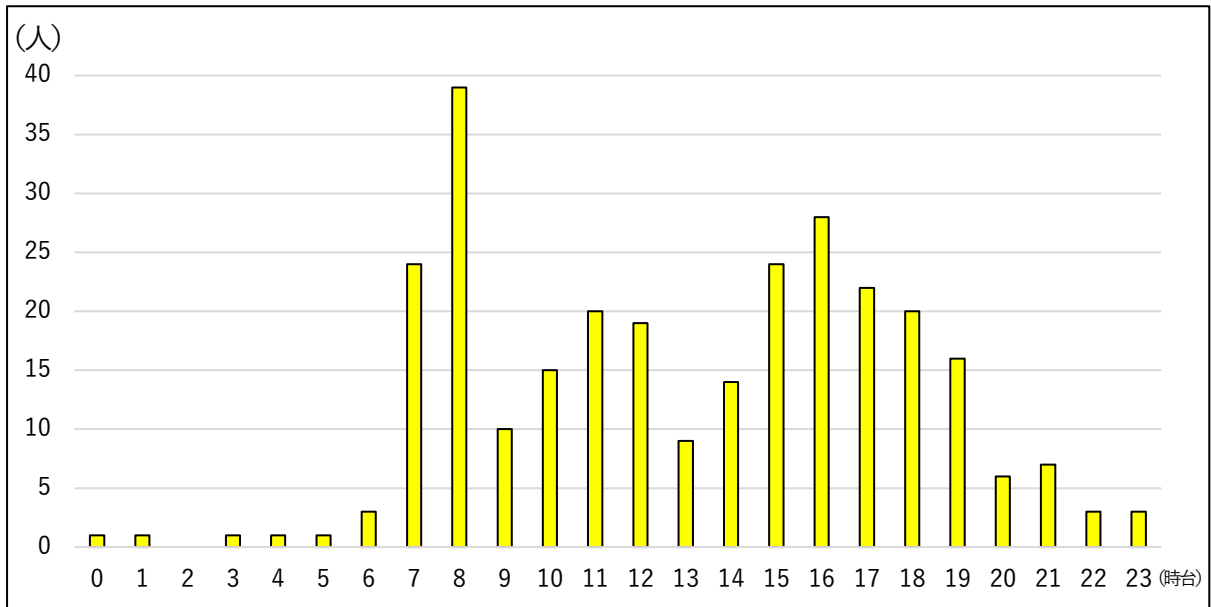
図2-2 時間帯別の交通事故による救急搬送人員（自動車）



(3) 自転車

(1)、(2)と比較して、より顕著に朝夕の通勤・通学の時間帯に多く交通事故により救急搬送されていることが分かります。

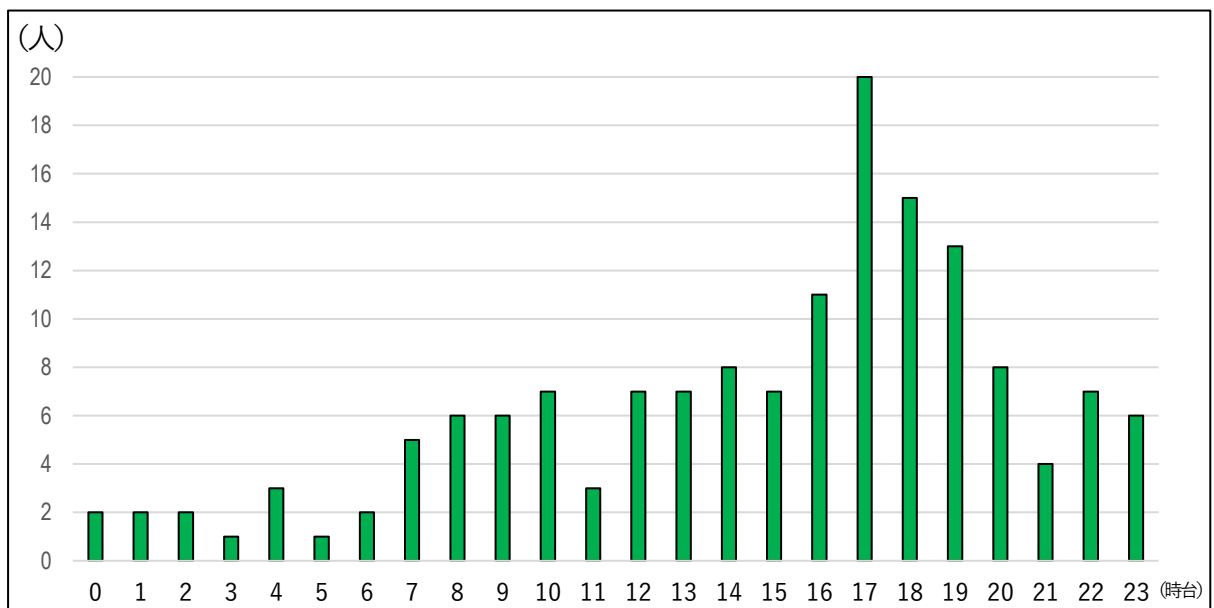
図2-3 時間帯別の交通事故による救急搬送人員（自転車）



(4) 歩行者

夕方の薄暗い時間帯に突出して多く交通事故により救急搬送されていることが分かります。この時間帯は、自動車と歩行者の交通事故が多く発生しているためと推測されます。自動車の運転手は早目にライトを点灯するとともに、より慎重な運転が必要です。歩行者も同様に、自身が自動車の運転手から見えにくいことを意識した歩行が必要です。

図2-4 時間帯別の交通事故による救急搬送人員（歩行者）

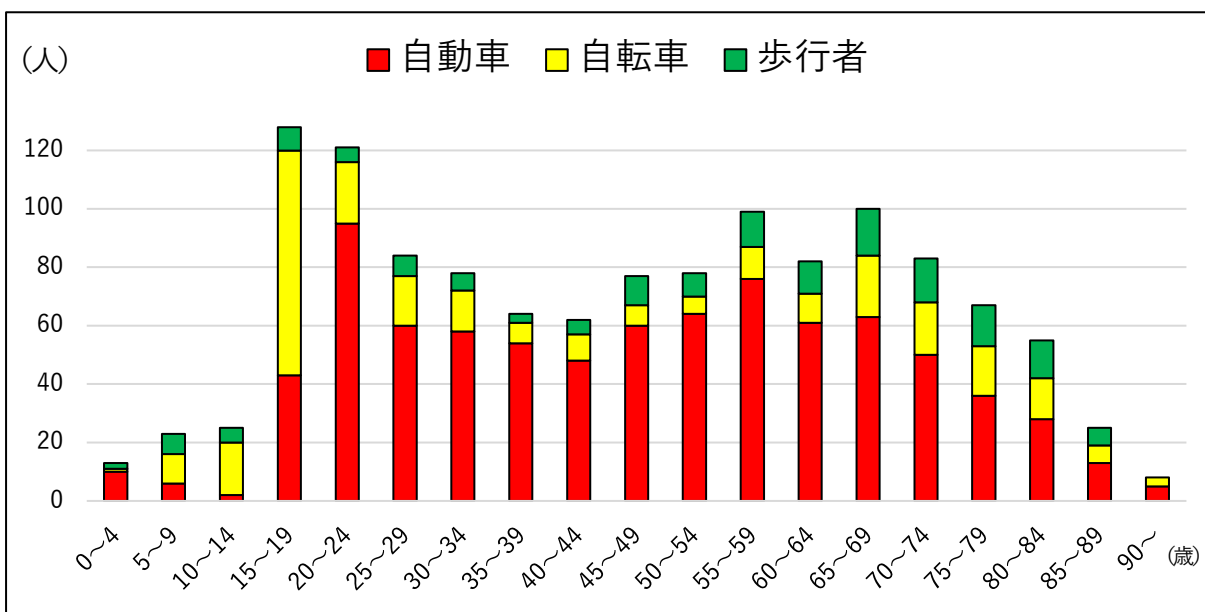


3 年代別の交通事故による救急搬送人員

(1) 全交通手段

10歳代後半から20歳代前半が最も多く交通事故により救急搬送されていることが分かります。

図3-1 年代別の交通事故による救急搬送人員（全交通手段）

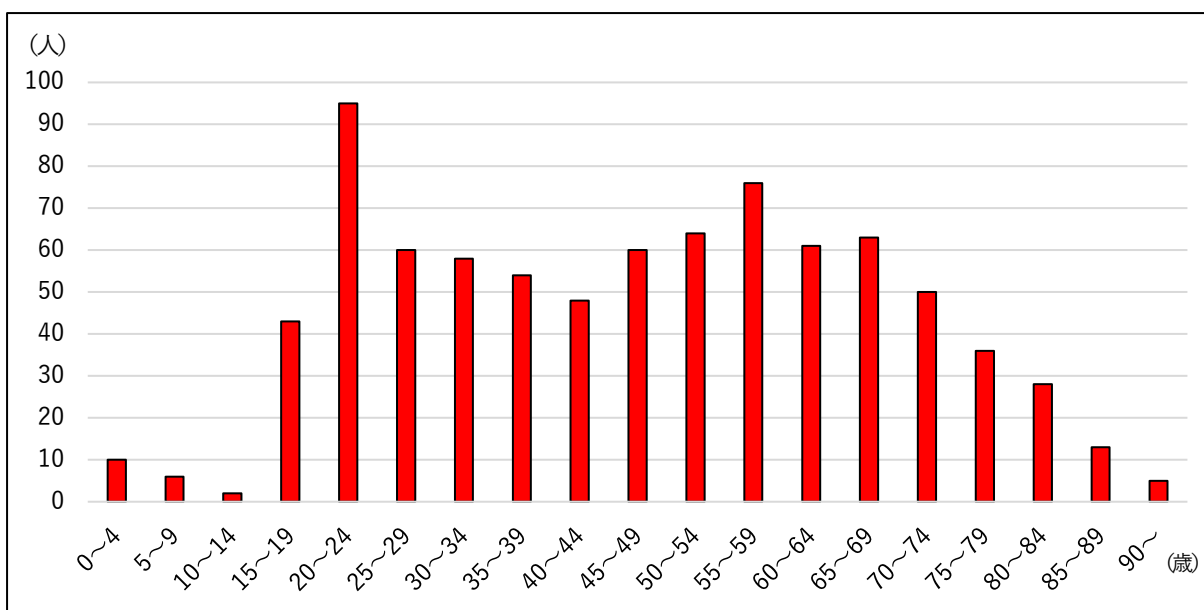


(2) 自動車

20歳代前半が最も多く交通事故により救急搬送されていることが分かります。

要因としては、運転経験が少ないことが交通事故を発生させる要因の一つとなっていると推測されます。

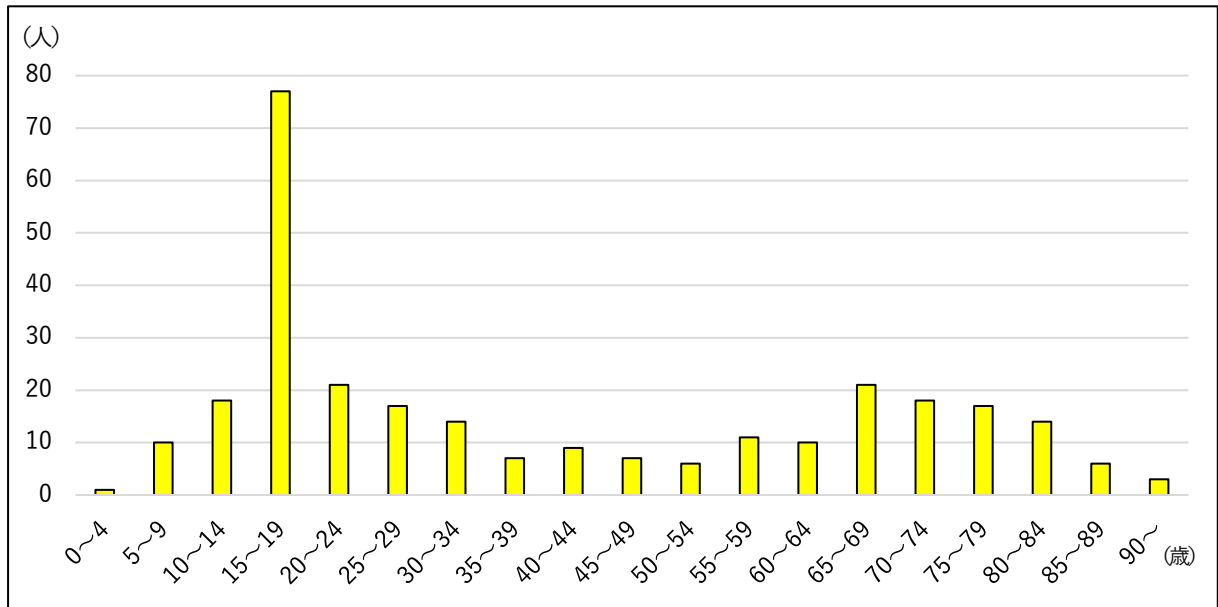
図3-2 年代別の交通事故による救急搬送人員（自動車）



(3) 自転車

自転車を主たる移動手段とする割合が高いと思われる中高生など、10歳代後半が突出して多く交通事故により救急搬送されていることが分かります。

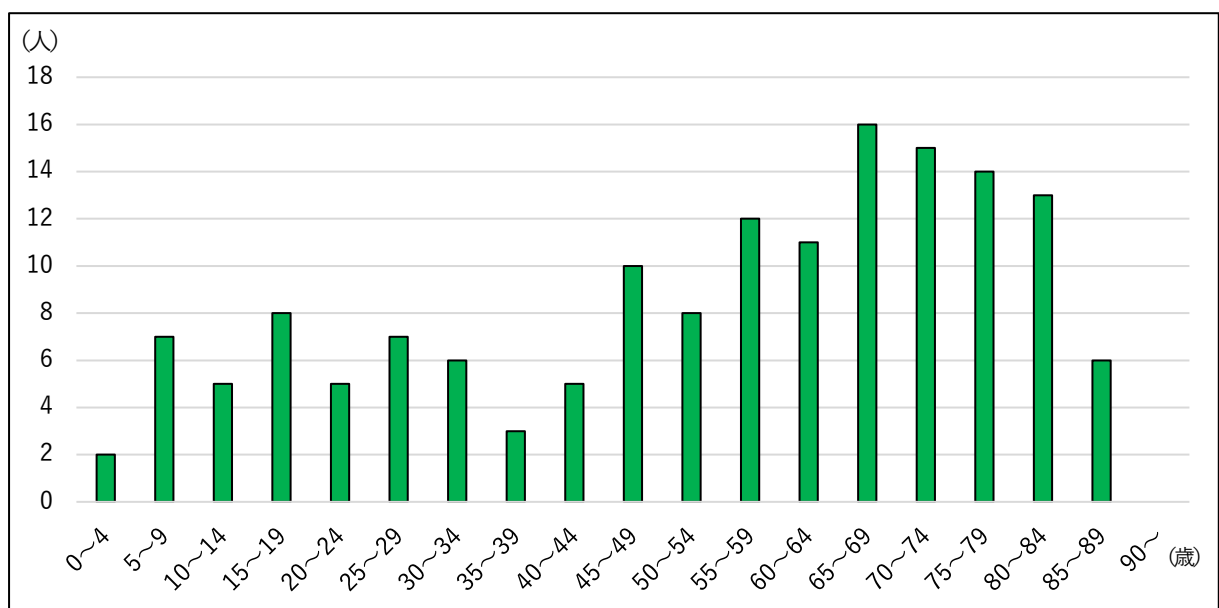
図3-3 年代別の交通事故による救急搬送人員（自転車）



(4) 歩行者

60歳代後半から80歳代前半にかけての年代で多く交通事故により救急搬送されていることが分かります。

図3-4 年代別の交通事故による救急搬送人員（歩行者）



4 曜日別の交通事故による救急搬送人員

月曜日が最も多く交通事故により救急搬送されていることが分かります。

休日明けの慌たしさなどが影響していると推測されます。

図4 - 1 曜日別の交通事故による救急搬送人員（全交通手段）

